喀痰溶解キット「Ｓｎａｐ ＆ Ｄｉｇｅｓｔ」

取 扱 説 明 書

製造元：Scientific Device Lab.Inc.
輸入・発売元：株式会社スギヤマゲン

イントロダクション：

「Ｓｎａｐ ＆ Ｄｉｇｅｓｔ」は臨床検査材料中の抗酸菌を効率良く抽出する為、喀痰の溶解と分離を行う試薬です。

喀痰、気管支粘液、気管うがい水のような検査材料は、本試薬による処理によって均等化されると共に、常在雑菌が取り除かれます。

Ｎ－ａｃｅｔｙｌ－ｌ－ｃｙｓｔｅｉｎ（ＮＡＬＣ）は粘着性の強い検査材料を溶解するのに広く使われている、効果的な試薬です。ＮＡＬＣの使用により、比較的低いアルカリ性で検査材料の均等化が可能になるので、抗酸菌の生存率が改善されます。

ＮＡＬＣは還元された状態でのみ、溶解剤としての効果を発揮します。システインで酸化されると効果を発揮できなくなります。このため、「Ｓｎａｐ ＆ Ｄｉｇｅｓｔ」では、ドライパウダーの状態でＮＡＬＣをガラスアンプルに密閉してあり、使用する直前にアンプルを割るまでＮＡＬＣは還元された状態に維持されるようになっています。

成分：

液剤（75ml ボトル/150ml ボトル）
Trisodium citrate（0.1M）2.9%
Sodium hydroxide　2.0%

アンプル・・・N.acetyl-l-cysteine　0.375gms/ampule

安定性　・・・アルカリ試薬　―　室温（15～30°C）で２年間安定。
ＮＡＬＣ　―　アンプルを割っていない状態で、２年間安定。
アンプルを割ったら、２４時間以内に使用する事。
極端な加熱・冷却を避けること。
使用前にアンプルが割れていたもの、使用期限が過ぎているものは使用しないこと。

注意：

偽陽性を防ぐため、陽性の染色結果がでた場合、他の染色方法により確認を行うことをお勧めします。

この試薬は in vitro でのみ使用して下さい。試薬は強アルカリを含んでおり、炎症を起こす可能性があります。目や皮膚に触れないようにして下さい。

もし目に入った場合、大量の水で直ちに洗い流し、医師の診察を受けて下さい。

また、もし飲み込んでしまった場合、牛乳・卵の白身または大量の水を飲ませ、直ちに医師の診察を受けて下さい。

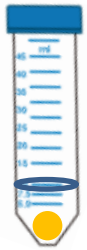
【　喀痰（検体）の処理方法　】

① 検体

スクリューキャップ付50ml遠心管（滅菌）へ喀痰を入れます。

② 撹拌

喀痰と等量のNALC-NaOH溶液を加えます。キャップを締め、上から押さえてボルテックスでよく混和します。



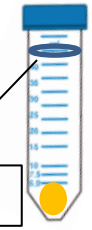
③ 雑菌処理

混合物は、約15分間室温で放置し、時折優しく横に振ります。スピンダウンにより、キャップの裏に付着している混合液を落とします。

④ 中和処理

付属の粉末から、滅菌リン酸緩衝液(pH6.8)を作製し、45mlまでメスアップします。キャップを締め、混和します。

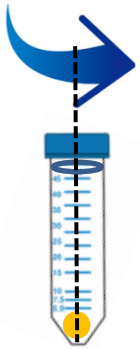
※下記参照



※パウダー状のリン酸緩衝液が入った小袋がキットに含まれています。パウダーは500mlの蒸留水を注ぎ液状に戻し滅菌して使用します。

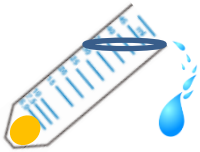
⑤ 遠心処理

エアロゾルフリーの封じ込め遠心カップ付冷却遠心機で、3000×g、20分間遠心します。



⑥ 上清廃棄

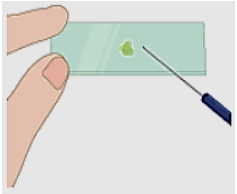
消毒剤を入れた容器に上清をﾃﾞｶﾝﾄにより静かに廃棄します。



⑦ 浮遊化

沈渣に 1ml のリン酸緩衝液を加え浮遊化させます。

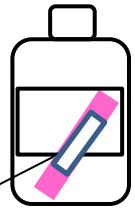
⑧ 塗抹標本や培養へ



【　NALC-NaOH の作製方法　】

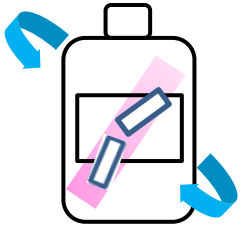
①
ご使用前に、キャップを緩めエアーを十分に抜き、再度キャップを締めます。

②
ボトルを垂直にして、外側からNALCアンプルを割ります。



注意：一度アンプルを割ったら24時間以内に使用して下さい。

③
ボトルを静かに転倒混和させ NALC を溶解させます。



注意：泡立てない様に静かに振ります。

NALC-NaOH
溶液の完成

動画もご確認下さい。→